

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 CL千賀、松井 尾崎 (摩耶山友会 CL)

2. 山城/ルート 南アルプス・空木岳 (池山尾根)

3. 交通手段 自家用車

4. 行動記録

<入山日 2014年4月12日。 下山日 2014年4月13日>

4/11 西宮 20:45 出発=1:00 着 駒ヶ岳 SA 泊

4/12 6:00 起床=林道通行止め(1020M)7:20 発→8:30 登山口 9:45 →
10:12 観察小屋→11:45 池山 12:05→12:35 池山避難小屋泊
(行動 5時間 15分 含む大休憩 1時間 35分)

4/13 0:00 起床・池山避難小屋 1:15→1:50 1920M →2:35 2080M
(スノーシューからアイゼンに交換) 2:50 → 4:00 小地獄(下) →
5:30 2282M → 6:20 2415M → 7:20 2528M → 8:05 駒石 →
8:50 空木岳頂上 9:00 → 9:37 駒石 → 10:12 2528M →
10:49 2415M → 11:43 2282M → 13:20 小地獄(下) →14:36 2080M→
15:25 池山避難小屋 16:40 → 17:34 登山口 → 18:30 林道通行止め
=駒ヶ岳 SA で夕食= 23:00 西宮帰着
(行動 17時間 15分 含む大休憩 1時間 25分)

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

4/12 出発時にトラブルが有り、小地獄まで往復すると日没を越える可能性が高いため散策予定を 4/13 へ変更、4/12 の経路を池山山頂経由とした。

また、4/13 は空木岳登頂を視野に計画を変更した。

計画の変更当たっては以下の点を考慮した。

- ・天候 (基本晴れ&微風。4/13 天候の崩れは高曇り程度にとどまる見通し。)
 - ・核心の小地獄通過を遭対へ報告していること。
 - ・経路上は携帯電話の通話が可能なこと。
 - ・メンバー全員は事前に空木岳往復プランの検討を行っていること。
 - ・行動時間は登り 8時間 (登頂 9時) 下り 9時間(池山小屋 15時・下山 18時) の予定で、安全圏の池山小屋へは 15時に帰着できる見込みであること。
 - ・全員が地形図を持参していること。
 - ・月齢 12.3 月没 3:58、日出 5:17 日没 18:19。深夜も月明かりがあること。
- 変更に伴う下山時間の変更は、山行中携帯電話で随時下山連絡先に報告した。

b) 事故に繋がりそうな要因 (ヒヤリハット) が発生したか?

発生した場合、具体的に記す

特になし。

- c)パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？
 長時間行動（4/13の17時間行動）の是非について討議した。
 引き返し予定時刻を8時としていたが、約1時間超過して行動した。

5. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

林道通行止め地点から池山小屋まで、ショートカットルートが多数あり。
 池山頂上コースとの分岐(1650M)まで積雪なし。
 池山避難小屋は国土地理院の地形図上は、旧小屋へ地名 Object が振られているので注意が必要。正しくは N35° 44'08.39" E137° 51'38.08"にある。
 池山避難小屋は広く水場もありとても快適。
 核心の小地獄は直登し、登り下りとも各3ピッチザイル確保を行った。
 2415M-2528M間は細い尾根で、斜面トラバースが必要な箇所が数カ所あった。
 空木平小屋は屋根の一部を残し雪に埋没。駒峰ヒュッテは利用可能。
 「雪上登攀技術向上 春山を楽しむ」を満たせた有意義な山行であった。

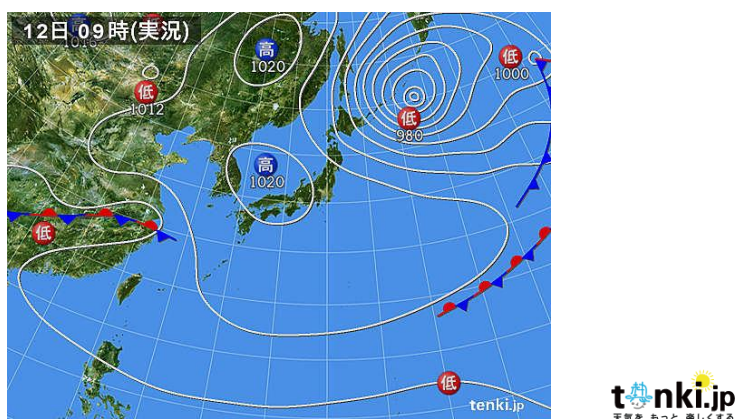


図 1 ザ春・移動性高気圧



図 2 GPS 記録

報告者氏名 千賀 義一 2014年4月15日